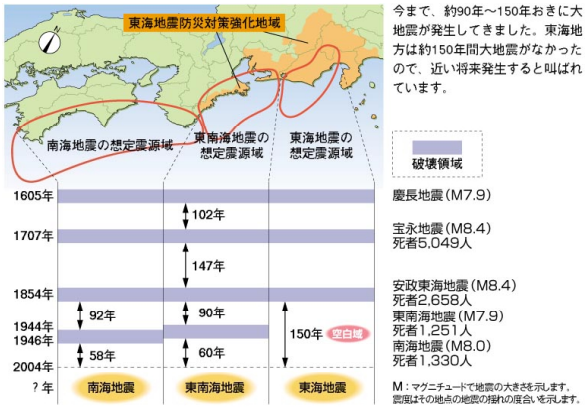
＜大規模災害等への対応＞
豊かな生活と産業発展の実現を支えるためには、東海豪雨のような水害や近年発生が危惧されている東海・東南海・南海地震等、様々な種類の災害に対応するとともに水資源の安定的な確保を図り、安全・安心な社会基盤を確立していく必要がある。

□中部地方の広範囲に渡って被害が危惧される東海・東南海・南海地震等

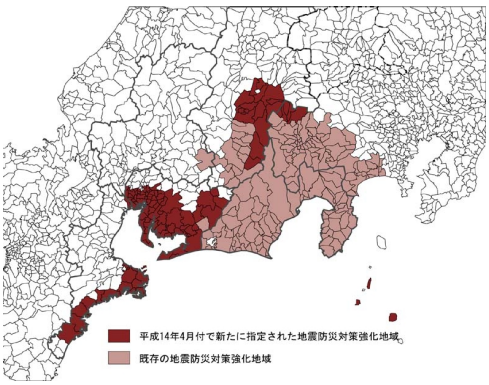
○ 中部地方では近い将来、東海・東南海・南海地震等の大地震が起きるおそれがあり、広い範囲に渡って地震防災対策の強化が求められています。

●過去の東海地震と東南海・南海地震



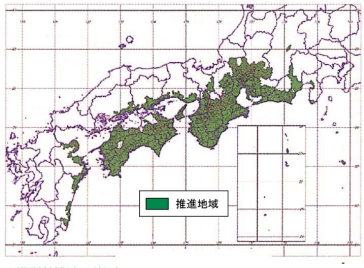
出典）国土交通省中部地方整備局資料

●東海地震にかかる地震防災対策強化地域



出典）中央防災会議資料

●東南海・南海地震防災対策推進地域



■推進地域指定の考え方
①震度6弱以上の地域
②「大津波」（3m以上）もしくは満潮時に陸上の浸水深が2m以上の津波が予想される地域のうちこれらの水位よりも高い海岸堤防が無い地域。
③周辺の市町村が連携することで初めて的確な防災体制を取れる地域。（地域防災体制を考慮）

出典）中央防災会議資料

■阪神・淡路大震災の状況

平成７年１月17日に発生した阪神・淡路大震災では、高速道路の倒壊、家屋の倒壊焼失により、 多くの被害が発生した（死者：6,433名（消防庁））

□近年多発する集中豪雨や洪水による被害

○ 近年、異常気象や気候変動に伴い集中豪雨や洪水、高潮などの災害が多発しています。

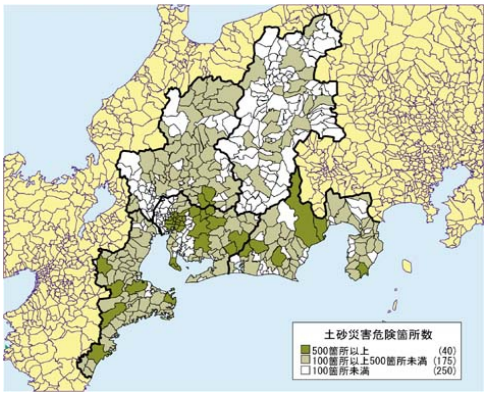
■平成12年9月　東海豪雨時の庄内川の出水状況

■平成14年７月台風６号による揖斐川支川大谷川の洗堰からの越流による浸水状況

□土砂災害危険箇所が数多く点在する中部地方

○ 中部地方には土砂災害の危険がある箇所が数多く点在しています。

●各市町村における土砂災害危険個所数



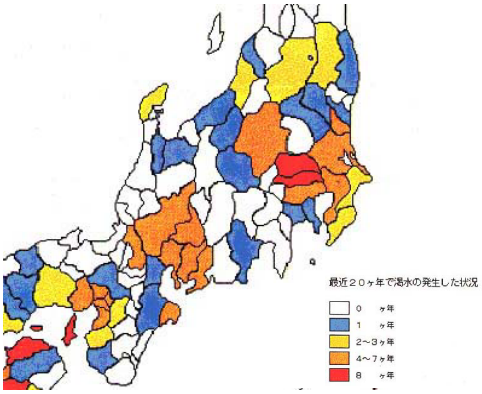
出典）国土交通省中部地方整備局資料（平成14年度）

■土石流による被害状況
（平成11年９月　岐阜県小坂町）

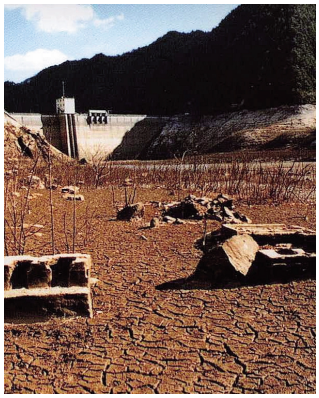
□中部地方においても多発する渇水

○ 最近20年間、中部地方においても渇水が頻繁に起きています。
○ 中部地方では水資源の安定的な供給とともに、渇水被害の軽減が求められています。

●近年20年で渇水の発生した件数



注）昭和56年から平成13年の間で上水道について減断水のあった年数を図示したものである
出典）国土交通省「平成15年度版国土交通白書」



■貯水が空になった宇連ダム